

# 令和3年度 学校自己評価システムシート ( 県立浦和商业高等学校 )

目指す学校像	グローバルに展開する経済社会において、多様な分野で幅広く活躍する商業人材の育成
--------	---

重点目標	1 授業を大切にし、学力の向上と心身の健康に努め、安全に関する知識を育み、逞しく生き抜く力を養う 2 地域の中核を担う商業高校として、教育活動の充実を図り、魅力ある商業教育を推進する 3 キャリア教育を推進し、社会人として必要な知識・技能や教養とマナーを身に付け、規範意識を持ち、生涯にわたり主体的に行動できる人材を育成する
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校評議員	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					令 和 3 年 度 評 価 ( 令 和 年 月 日 現 在 )		
年 度 目 標					評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標			
1	<b>【逞しく生き抜く力の養成】</b> ○ 新学習指導要領(令和4年度から年次進行で実施)における教育課程について、スクール・ポリシーとのつながりを意識しながら精緻化を進めるとともに、その実施に向けて教材研究や探究学習に係る研修を促進する。 ● ICTを活用しながら、知識伝達型や「主体的・対話的で深い学び」の授業を推進し、公開授業とそれに基づく研修の文化を学校全体で構築する。	○ 生徒に逞しく生き抜く力を養成するため、教育課程の精緻化を進めるとともに、教材研究や探究学習に係る研修を促進する。	○ 教育課程検討委員会を中心に、5月の本提出に向けて、スクール・ポリシーとそれに基づく教育課程を編成する。また、教育課程を効果的に実施するため、教材研究と探究学習の研修を進める。	○ ・スクール・ポリシーと連携した教育課程が編成できたか。 ・「教材ルーム」(ゲーグル・クラウド)への教材の蓄積が進んだか。			
		● 生徒に学びに向かう力を育成するため、ICTを活用しながら、知識伝達型と「主体的・対話的で深い学び」のハイブリッド型授業の実現を達成する。	● 教務部・情報管理部を中心に、実施状況をモニタリングしながら、授業公開と参観者によるフィードバックを実施する。	● ・年2回以上の授業公開とそれに伴うフィードバックができたか。 ・ICTを活用した授業を促進できたか。 ※教職員・生徒アンケートの実施(年度途中と年度末)			
2	<b>【魅力ある商業教育の推進】</b> ○ 魅力ある商業教育の推進により、本校への希望倍率や志願倍率を向上させる。 ● 魅力ある商業教育を推進するため、保護者負担にも配慮しながら、施設・設備の一層の充実とその有効利用(特にICT)を推進する。	○ 魅力ある商業教育の推進により、学校説明会等への参加者数や希望倍率、志願倍率を向上させる。	○ 広報部を中心に、中学生やその保護者を学校ホームページ(HP)等で学校説明会等へ誘(いざな)い、説明会等でのハートをキャッチする。	○ ・学校HPが頻繁(月20回以上)に更新されたか。 ・学校説明会等の純参加者数=500組超が達成できたか。 ・希望倍率の昨年度比の向上や志望倍率1倍超が実現できたか。			
		● 魅力ある商業教育を推進するため、施設・設備の一層の充実と、その有効活用(特にICT)の推進を実現する。	● 事務室・情報管理部を中心に、生徒・保護者等の意見・要望などに耳を傾けながら、教育活動に支障がなく、かつ教育活動を効果的に実施できる施設・設備の充実と利用促進(特にICT)を図る。	● ・アンケート調査(学期末)の実施とそれをもとにした評価・改善(=見える化)が図られたか。 ・エアコン増設に伴い、その有効活用を図るとともに保護者負担に配慮できたか。 ※保護者アンケートの実施			
3	<b>【主体的に行動できる人材の育成】</b> ○ 生徒が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できる資質・能力を養う。 ● 生徒が自らの学びを調整できる資質・能力を育成できる仕組みを構築させ機能させる。	○ 主体的に行動できる人材を育成するため、本校のキャリア・パスポート(キャリアパス)の評価・改善を進める。	○ 進路指導部と各学年を中心に、キャリアパスの有効活用とその評価・改善を図る。	○ ・キャリアパスを活用した面談やコミュニケーションが実施できたか。 ・キャリアパスの実施状況のモニタリング(評価)と改善が図られたか。 ※教職員アンケートの実施			
		● 生徒に自らの学びを調整できる資質・能力を育成するため、キャリアパスを中心に、高校生のための学びの基礎診断(基礎診断)や学習の手引(手引)、生徒手帳等の支援ツールを有機的に連携させる。	● 進路指導部を中心に、生徒の学びを調整する力を育成できるよう、あらゆる支援ツールをキャリアパスに連結させる仕組み(=つなげる化)を構築する。	● ・生徒が基礎診断の結果や生徒手帳への記録、手引の利用状況について、キャリアパスに反映することができたか。 ・キャリアパスにより、生徒が自らの学習状況やキャリア形成を振り返り、次の学びにつなげることができたか。 ※生徒・教職員アンケートの実施			

学 校 関 係 者 評 価		
実 施 日	令 和 年 月 日	